



弟子屈

ロータリークラブ

Weekly Report

2012-2013 年度 ■RI 会長：田中 作次 ■RI 第 2500 地区ガバナー：櫻田 正弘

■RI 第 2500 地区第 8 分区ガバナー補佐：小家山 勝

(弟子屈 RC 理事) 会長：竹森英彦 会長エレクト：桐木茂雄 幹事：辻谷智之

副会長：小澤慎司 会計：伊藤幸雄 職業奉仕：筒井庄一 社会奉仕：鈴木幸栄

国際奉仕：木暮敏男 会場監督：小林寿男 直前会長：小林寿男

2012 年 9 月 23 日(日) 2012-2013 年度 第 12 回 通算 2762 回(移動)



今日は弟子屈ロータリークラブ、社会奉仕活動の一環で、子供支援・身障者支援事業の「収穫祭」をここ札友内の松岡農園さんで行いました。朝 10:00 時に松岡さん住宅前に集合、会員とその家族、てつなぎ工房より 3 名の合計 26 名でした。松岡さんの家族で出迎えていただき、イモ畑に案内され、オーナーより品種や栽培法など詳しく説明を受けました。今回は畑を良い状態に保つために掘り残しがないようにと、あらかじめ、機械で掘っておくれました。「イモ掘り」ではなく「イモ拾い」になりましたが、久々の秋晴れのなか全員、和気藹々で 4 種類のジャガイモを袋詰めしました。また、そばにあるハウスの中には、大粒のブドウもなっていて、とっても美味しそうでした。40 分ほどで収穫が終わり、会長の解散のあいさつと昼食用のオニギリが配られました。今夜の食卓はカレーライスかな？ (t-k)

参考資料(札幌市経済局 HP より)

北海道のジャガイモ栽培は明治初期に本格化しました。寒冷な気候でも収穫量が比較的安定し、価格の変動も少ないため、農業経営の面でも重要な作物となり、北海道を代表する農業生産物に成長します。国内でのジャガイモ生産のシェアは、明治期には約 3 割でしたが、以後徐々に生産量が拡大し、現在では全国の約 8 割を占めています。近年は、品種改良や栽培・収穫技術の向上が進み、より安全で味の良いジャガイモが全国に出荷されています。また、ジャガイモはわが国の食糧供給の安定化や緊急時の食糧確保に欠かせない作物としても位置づけられています。



【例会出席報告】：(木暮広報委員) 会員数 17 名 出席者数 12 名 免除者数 3 名 出席率 88.2%

★例会：毎週水曜日 12:30 分／ホテル摩周(弟子屈町湯の島) ★責任編集 弟子屈 RC 広報委員会 委員長：今井善昭 委員：木暮敏男・朝山雅之